

神奈川の愛唱歌

心に響く童謡・唱歌

創立四十周年記念出版

みんなで歌う

# 心のうた 200選

ゆめクラブ神奈川  
財団法人神奈川県老人クラブ連合会

ふるさとの民謡

想い出の歌謡曲



「心のうた 200 選」の販売は終了となっています。

ご希望のお問い合わせが多くありますので、

コピー版をご提供します。

大きさはA4サイズ、1ページに2曲分の歌詞、

両面印刷で約60枚を綴じたものです。

1部600円（送料別途）

ご希望の方は必要事項を記入の上、葉書、FAXもし

しくはメールで下記までお申し込みください。

●必要事項：住所、氏名、電話番号、希望部数

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

(公財) 神奈川県老人クラブ連合会

FAX：045-312-4288

メール：kanagawa@yumekurabu.or.jp

# 心のうた 200選 もくじ

## 神奈川の変唱歌

光あらたに……………	8	箱根八里……………	10
城ヶ島の雨……………	11	七里ヶ浜の哀歌……………	12
おさるのかごや……………	13	ブルー・ライト・ヨコハマ……………	14
よこはま・たそがれ……………	15	箱根八里の半次郎……………	16
心に響く童謡・唱歌「春の歌」			
うれしいひな祭り……………	18	おぼろ月夜……………	19
鯉のぼり……………	20	早春賦……………	21
茶摘……………	22	春の小川……………	23
みかんの花咲く丘……………	24	めだかの学校……………	25
心に響く童謡・唱歌「夏の歌」			
雨降りお月……………	26	うみ……………	27
たなばたさま……………	28	夏の思い出……………	29
夏は来ぬ……………	30	宵待草……………	31
われは海の子……………	32		
心に響く童謡・唱歌「秋の歌」			
赤とんぼ……………	33	里の秋……………	34
ちいさい秋みつけた……………	35	通りゃんせ……………	36
どんぐりころころ……………	37	村まつり……………	38
紅葉(もみじ)……………	39	夕焼け小焼け……………	40
心に響く童謡・唱歌「冬の歌」			
仰げば尊し……………	41	お正月……………	42
たき火……………	43	螢の光……………	44
雪の降る町を……………	45	雪山讃歌……………	46
心に響く童謡・唱歌「四季を通しての歌」			
青い眼の人形……………	47	青葉の笛……………	48

## 心に響く童謡・唱歌「外国民謡」

赤い靴……………	49	朝はどこから……………	50
あの町この町……………	51	かあさんの歌……………	52
肩たたき……………	53	鎌倉……………	54
からたちの花……………	55	荒城の月……………	56
この道……………	57	叱られて……………	58
砂山……………	59	月の砂漠……………	60
とんがり帽子……………	61	鉄道唱歌……………	62
七つの子……………	64	浜千鳥……………	65
浜辺の歌……………	66	富士山……………	67
故郷(ふるさと)……………	68	牧場の朝……………	69
村の鍛冶屋……………	70	椰子の実……………	71
ゆりかごの歌……………	72		
心に響く童謡・唱歌「外国民謡」			
故郷の空……………	73	故郷の魔家……………	74
庭の千草……………	75	埴生の宿……………	76
旅愁……………	77	ローレライ……………	78
SONG OF THE WORLD			
ソーラン節(北海道)……………	80	江差追分(北海道)……………	82
津軽じょんがら節(青森)……………	83	南部牛追い唄(岩手)……………	84
ドンパン節(秋田)……………	85	花笠音頭(山形)……………	86
さんさ時雨(宮城)……………	87	お立ち酒(宮城)……………	88
相馬盆唄(福島)……………	89	会津磐梯山(福島)……………	90
常磐炭坑節(茨城)……………	91	草津節(群馬)……………	92
東京音頭(東京)……………	93	佐渡おけさ(新潟)……………	94
武田節(山梨)……………	95	チャッキリ節(静岡)……………	96
木曾節(長野)……………	97	越中おわら節(富山)……………	98
串本節(和歌山)……………	99	デカンショ節(兵庫)……………	100
金毘羅船々(香川)……………	101	よさこい節(高知)……………	102

さくら貝の歌……………152  
白い花の咲く頃……………155  
長崎の鐘……………154  
リンゴ追分……………153  
リンゴの歌……………156

想い出の歌謡曲「昭和30年代」

いつでも夢を……………157  
上を向いて歩こう……………158  
王将……………159  
北上夜曲……………160  
高校三年生……………161  
ここに幸あり……………162  
古城……………163  
東京だよおっ母さん……………164  
南国土佐を後にして……………165  
無法松の一生……………166  
別れの一本杉……………167

想い出の歌謡曲「昭和40年代」

悲しい酒……………168  
君は心の妻だから……………169  
今日の日はさようなら……………170  
くちなしの花……………171  
三百六十五歩のマーチ……………172  
好きになった人……………173  
知床旅情……………174  
瀬戸の花嫁……………175  
星影のワルツ……………176

想い出の歌謡曲「昭和50年代」

いい日旅立ち……………177  
大阪しぐれ……………178  
奥飛騨慕情……………179  
おもいで酒……………180  
北国の春……………181  
さざんかの宿……………182  
だんな様……………183  
千曲川……………184  
津軽海峡冬景色……………185  
浪花恋しぐれ……………186  
風雪ながれ旅……………187  
ふたり酒……………188  
みちづれ……………189  
娘よ……………190  
夫婦春秋……………191  
夫婦舟……………192  
矢切の渡し……………193  
夢追い酒……………194  
あばれ太鼓……………195  
天城越え……………196

想い出の歌謡曲「明治・大正・昭和（50年代）」

安来節（島根）……………103  
黒田節（福岡）……………104  
おもてもやん（熊本）……………105  
五木の子守唄（熊本）……………106  
神搦節（宮崎）……………107  
刈干切唄（宮崎）……………108  
鹿児島小原良節（鹿児島）……………109  
安里屋ユンタ（沖縄）……………110

青い背広で……………112  
大利根月夜……………113  
丘を越えて……………114  
影を慕いて……………115  
籠の鳥……………116  
国境の町……………117  
湖畔の宿……………118  
ゴンドラの唄……………119  
酒は涙か溜息か……………120  
人生の並木道……………121  
船頭小唄……………122  
蘇州夜曲……………123  
誰か故郷を想わざる……………124  
東京ラプソディ……………125  
野崎小唄……………126  
二人は若い……………127  
明治一代女……………128

想い出の軍歌

愛国行進曲……………129  
暁に祈る……………130  
男なら……………131  
加藤隼戦闘隊……………132  
九段の母……………133  
軍艦マーチ……………134  
月月火水木金金……………135  
戦友……………136  
空の神兵……………137  
父よあなたは強かった……………138  
同期の桜……………139  
日の丸行進曲……………140  
麦と兵隊……………141  
ラバウル小唄……………142  
露営の歌……………143

想い出の歌謡曲「昭和20年代」

青い山脈……………144  
憧れのハワイ航路……………145  
あざみの歌……………146  
異国の丘……………147  
お富さん……………148  
悲しき口笛……………149  
岸壁の母……………150  
高原列車は行く……………151

# 神奈川の愛唱歌

(神奈川県民歌)

飯田 勝村  
田 瀬  
信 承 輝  
夫 夫 光  
作 補 作  
曲 曲 詞

神奈川の  
愛唱歌

命くれぬい……………	197	祝い酒……………	198
男と女のラブゲーム……………	199	木曾路の女……………	200
酒よ……………	201	人生いろいろ……………	202
みだれ髪……………	203	雪国……………	204
雪椿……………	205		
想い出の歌謡曲「平成年代」			
川の流れるように……………	206	酒場……………	207
佐渡の恋唄……………	208	だんご三兄弟……………	209
珍島物語……………	210	孫……………	211
麦畑……………	212	夫婦みち……………	213
想い出の寮歌・学生歌			
あゝ玉杯に花うけて……………	214	学生時代……………	215
紅萌ゆる丘の花……………	216	四季の歌……………	217
鈴懸の径……………	218	人を恋うる歌……………	219
琵琶湖周航の歌……………	220	北帰行……………	221
歌い出し索引……………	222		
編集後記……………	224		

県鳥 かもめ



県木 いちよう



県花 やまゆり



県章



*mf*

1 ひ かり あら たに くもそめ て

*f* *mf*

な なつ の し お じ ま む か い に

*mp*

く に の あ し た の ま ど ひ ら く

*mf*

あ あ ー か な が わ は お お ら か に

き ほう の に じ ー の た つ と こ ろ

一 光あらたに 雲染めて

ななつの汐路しおじ まむかいに

国のあしたの 窓開く

ああ神奈川は おおらかに

希望の虹の 立つところ

二 風もかがやき 富士映えて

ながめもはるか 湘南は

永遠とわにこころの ふるさとよ

ああ神奈川は あたたかい

理想の友の 寄るところ

三 緑はてなく 野に燃えて

実りの夢の わく朝は

つづく海辺に 海の幸

ああ神奈川は なつかしい

平和の花の 咲くところ

## 箱根八里

### 第一章 昔の箱根

箱根の山は 天下の険 函谷関かんこくかんも物ならず

万丈ばんじやうの山 千仞せんじんの谷 前に聳そびえ後に支さう

雲は山をめぐり

霧は谷をとざす

昼猶なつか闇くらき杉の並木 羊腸やぎぢゆうの小径は苔滑こけなめらか

一夫関いつぶかんに当るや万夫ばんぶも開くなし

天下に旅する剛毅ごうぎの武士ものぶ

大刀腰だいたうに足駄あしだがけ 八里の岩ね踏み鳴す

斯かくこそありしか往時の武士

### 第二章 今の箱根

箱根の山は 天下の阻そ 蜀しよくの栈道さんどうかす数ならず

万丈の山 千仞の谷 前に聳え後に支う

雲は山をめぐり

霧は谷をとざす

昼猶闇き杉の並木 羊腸の小径は苔滑らか

一夫関に当るや万夫も開くなし

山野に狩する剛毅の壮士ますらお

獵銃肩に草鞋わらじがけ 八里の岩ね踏み破る

斯くこそありけれ近時の壮士ますらお